



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社武蔵野銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8336 U R L <https://www.musashinobank.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 長堀 和正  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 磯中 克哉 T E L 048-641-6111  
 配当支払開始予定日 一  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	75,946	22.3	18,290	30.7	12,804	25.6
2025年3月期第3四半期	62,080	1.6	13,984	22.7	10,193	20.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 15,067百万円 (438.5%) 2025年3月期第3四半期 2,797百万円 (△78.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	387.26	387.23
2025年3月期第3四半期	308.13	308.11

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	5,576,510		278,111		4.9	
2025年3月期	5,474,957		267,974		4.8	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 278,053百万円 2025年3月期 267,918百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 一	円 銭 60.00	円 銭 一	円 銭 65.00	円 銭 125.00
2026年3月期	円 銭 一	円 銭 80.00	円 銭 一	円 銭 80.00	円 銭 160.00
2026年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	97,600	16.0	22,000	21.5	15,000	14.0	453.88	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 一 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    |

2026年3月期 3Q	33,405,456株	2025年3月期	33,405,456株
2026年3月期 3Q	357,241株	2025年3月期	324,461株
2026年3月期 3Q	33,064,272株	2025年3月期 3Q	33,080,547株

(注) 当行は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当行株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現在当行が入手可能な情報及び現時点での判断、評価、事実認識に基づいた仮定を前提としており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後想定される様々な要因（国内外の経済、株式市場等の状況変化）によって異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結会計期間末の財政状態の概況	2
(3) セグメントごとの経営成績	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10
3. 決算補足説明資料	
(1) 損益の状況【単体・連結】	11
(2) 金融再生法開示債権の状況【単体・連結】	13
(3) 自己資本比率(国内基準)【単体・連結】	13
(4) 預金等・預り資産及び貸出金の残高【単体】	14
(5) 有価証券の評価損益【単体・連結】	15
(6) デリバティブ取引【連結】	16

## 1. 経営成績等の概況

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、一部に米国の通商政策による影響がみられるものの、緩やかに回復しました。需要項目別にみると、輸出は、おむね横ばい圏内の動きですが、個人消費は持ち直しの動きがみられるほか、設備投資は緩やかに持ち直しました。この間、消費者物価は上昇しました。

当行の経営基盤である埼玉県経済につきましても、緩やかに回復しました。県内企業の景況感をみると、米国の通商政策にかかる不透明感の後退やOSサポート切れに伴うパソコン需要の増加、価格転嫁の進捗等を背景に、製造業を中心マイナス幅が大幅に縮小しました。また、個人消費は、物価が上昇するもとにあっても、雇用所得環境の改善から全体として緩やかに持ち直しているほか、企業の設備投資も、増加基調で推移しています。

このような情勢のもと、当第3四半期連結累計期間における業績は、次のとおりとなりました。

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、資金運用収益が貸出金利息及び有価証券利息配当金を主因に増加したこと等から、前年同期比138億65百万円増加し759億46百万円となりました。

一方、経常費用は、資金調達費用が預金利息を主因に増加したこと等から、前年同期比95億58百万円増加し576億55百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比43億6百万円増加し182億90百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同26億11百万円増加し128億4百万円となりました。

### (2) 当四半期連結会計期間末の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比1,015億円増加し5兆5,765億円、純資産は前連結会計年度末比101億円増加し2,781億円となりました。

主要な勘定残高は、貸出金が前連結会計年度末比1,008億円増加し4兆2,141億円となりました。有価証券は前連結会計年度末比966億円減少し9,587億円となりました。預金は前連結会計年度末比520億円増加し5兆1,167億円となりました。

### (3) セグメントごとの経営成績

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は、以下のとおりとなりました。

#### [銀行業]

経常収益は前年同期比133億20百万円増加し662億46百万円、セグメント利益は前年同期比42億49百万円増加し177億10百万円となりました。

#### [リース業]

経常収益は前年同期比6億11百万円増加し88億57百万円、セグメント利益は前年同期比13百万円減少し2億54百万円となりました。

#### [信用保証業]

経常収益は前年同期比1億19百万円減少し9億91百万円、セグメント利益は前年同期比1億17百万円減少し8億89百万円となりました。

#### [その他]

報告セグメントに含まれない「その他」の経常収益は前年同期比1億68百万円増加し19億53百万円、セグメント利益は前年同期比41百万円増加し3億41百万円となりました。

なお、四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

### (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年11月7日公表の数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	161,488	252,138
買入金銭債権	814	971
商品有価証券	3	—
金銭の信託	1,495	1,496
有価証券	1,055,356	958,721
貸出金	4,113,281	4,214,114
外国為替	7,049	5,492
リース債権及びリース投資資産	20,164	21,351
その他資産	50,272	56,918
有形固定資産	53,446	52,563
無形固定資産	5,396	5,624
退職給付に係る資産	13,903	14,429
繰延税金資産	2,450	984
支払承諾見返	5,141	5,376
貸倒引当金	△15,305	△13,672
<b>資産の部合計</b>	<b>5,474,957</b>	<b>5,576,510</b>
<b>負債の部</b>		
預金	5,064,633	5,116,715
譲渡性預金	14,770	18,360
コールマネー及び売渡手形	42,613	52,134
債券貸借取引受入担保金	13,013	18,988
借用金	12,928	14,300
外国為替	344	276
信託勘定借	7,893	7,790
その他負債	36,408	56,108
賞与引当金	1,229	340
役員賞与引当金	36	33
退職給付に係る負債	2,331	2,164
役員退職慰労引当金	25	24
利息返還損失引当金	27	17
睡眠預金払戻損失引当金	114	117
ポイント引当金	117	124
偶発損失引当金	232	329
株式報酬引当金	87	110
繰延税金負債	684	734
再評価に係る繰延税金負債	4,352	4,352
支払承諾	5,141	5,376
<b>負債の部合計</b>	<b>5,206,983</b>	<b>5,298,398</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
資本金	45,743	45,743
資本剰余金	38,350	38,350
利益剰余金	172,537	180,536
自己株式	△791	△916
株主資本合計	255,841	263,715
その他有価証券評価差額金	△4,362	△9,706
繰延ヘッジ損益	6,307	14,285
土地再評価差額金	8,161	8,161
退職給付に係る調整累計額	1,971	1,597
その他の包括利益累計額合計	12,077	14,338
新株予約権	8	8
非支配株主持分	47	49
純資産の部合計	267,974	278,111
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,474,957</b>	<b>5,576,510</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
経常収益	62,080	75,946
資金運用収益	38,844	47,976
(うち貸出金利息)	29,341	36,562
(うち有価証券利息配当金)	9,122	10,956
信託報酬	12	10
役務取引等収益	11,730	11,809
その他業務収益	1,263	1,810
その他経常収益	10,230	14,339
経常費用	48,096	57,655
資金調達費用	4,894	9,800
(うち預金利息)	2,013	7,091
役務取引等費用	3,099	3,077
その他業務費用	4,769	5,597
営業経費	26,665	28,386
その他経常費用	8,667	10,793
経常利益	13,984	18,290
特別利益	—	0
固定資産処分益	—	0
特別損失	16	0
固定資産処分損	4	0
減損損失	11	—
税金等調整前四半期純利益	13,968	18,291
法人税、住民税及び事業税	3,266	4,891
法人税等調整額	502	593
法人税等合計	3,768	5,484
四半期純利益	10,199	12,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,193	12,804

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	10,199	12,806
その他の包括利益	△7,401	2,260
その他有価証券評価差額金	△9,705	△5,343
繰延ヘッジ損益	2,894	7,978
退職給付に係る調整額	△589	△373
四半期包括利益	2,797	15,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,791	15,065
非支配株主に係る四半期包括利益	5	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(役員向け株式報酬制度)

当行は、当行取締役（社外取締役及び国内非居住者である者を除く。以下同じ。）を対象とした、役員報酬BIP信託を導入しております。

1 取引の概要

役員報酬BIP信託は、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を一層高めることを目的とした役員インセンティブ・プランであり、役位や業績目標の達成度等に応じたポイントが当行の取締役に付与され、そのポイントに応じた当行株式及び当行株式の換価処分金相当額の金銭が取締役の退任時に交付及び給付される株式報酬型の役員報酬であります。

2 信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

3 信託が所有する自社の株式に関する事項

信託が所有する当行株式は株主資本に自己株式として計上しております。信託における自己株式の帳簿価額、期末株式数及び期中平均株式数は以下のとおりであります。

- |                |                               |
|----------------|-------------------------------|
| (1) 信託における帳簿価額 | 239百万円（前連結会計年度末は119百万円）       |
| (2) 期末株式数      | 92,248株（前連結会計年度末は60,748株）     |
| (3) 期中平均株式数    | 76,858株（前第3四半期連結累計期間は61,945株） |

なお、期中平均株式数は1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

## (セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業	リース業	信用保証業	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	51,787	8,104	1,075	60,967	1,359	62,327
セグメント間の内部経常収益	1,138	142	34	1,316	425	1,741
計	52,926	8,246	1,110	62,283	1,785	64,068
セグメント利益	13,461	267	1,007	14,736	300	15,036

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2 外部顧客に対する経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差額は貸倒引当金戻入益の調整額であります。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、以下の業務を含んでおります。

クレジットカード（JCB・VISA）、金銭の貸付、カード業務に係る信用保証業務、コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務、県内経済・産業の調査研究、経営・税務等の相談、各種セミナーの開催、ベンチャー企業等への投資、経営相談、事務代行業務、地域商社業務、コンサルティング業務、投資運用、投資助言業務

## 2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,736
「その他」の区分の利益	300
セグメント間取引消去	△1,052
四半期連結損益計算書の経常利益	13,984

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業セグメントにおいて、埼玉県内の営業用店舗について減損損失を計上しております。

この営業用店舗は、営業キャッシュ・フローの低下により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、11百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業	リース業	信用保証業	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	65,212	8,718	701	74,632	1,462	76,094
セグメント間の内部経常収益	1,034	139	289	1,463	490	1,954
計	66,246	8,857	991	76,095	1,953	78,048
セグメント利益	17,710	254	889	18,854	341	19,196

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

- 2 外部顧客に対する経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差額は貸倒引当金戻入益の調整額であります。
- 3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、以下の業務を含んでおります。

クレジットカード（JCB・VISA）、金銭の貸付、カード業務に係る信用保証業務、コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務、県内経済・産業の調査研究、経営・税務等の相談、各種セミナーの開催、ベンチャー企業等への投資、経営相談、事務代行業務、地域商社業務、コンサルティング業務、投資運用、投資助言業務

## 2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,854
「その他」の区分の利益	341
セグメント間取引消去	△905
四半期連結損益計算書の経常利益	18,290

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,984百万円	3,020百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 決算補足説明資料

## (1) 損益の状況 … (単体・連結)

**① コア業務純益 180億10百万円**

コア業務純益は、貸出金利息や有価証券利息配当金を主因に資金利益が増加したこと等から、前年同期比47億5百万円増加し180億10百万円となりました。

**② 経常利益 176億86百万円**

経常利益は、コア業務純益の増加を主因に、前年同期比42億46百万円増加し176億86百万円となりました。

**③ 四半期純利益 125億95百万円**

四半期純利益は、前年同期比25億35百万円増加し125億95百万円となりました。

&lt;単体&gt;

(単位：百万円)

	2026年3月期 第3四半期 累計期間 (A)	2025年3月期 第3四半期 累計期間 (B)	比較 (A-B)	2026年3月期 通期予想	2025年3月期 通期実績
業務粗利益	42,311	38,374	3,937	51,097	
資金利益	38,984	34,866	4,117	45,922	
役務取引等利益	8,046	7,908	137	10,557	
その他業務利益	△4,718	△4,400	△317	△5,382	
うち債券関係損益	△3,371	△1,193	△2,178	△1,470	
経費(除く臨時処理分)(△)	27,672	26,263	1,409	35,262	
実質業務純益	14,638	12,111	2,527	15,834	
<b>コア業務純益</b>	<b>18,010</b>	<b>13,304</b>	<b>4,705</b>	<b>17,304</b>	
除く投資信託解約損益	16,720	12,401	4,319	16,111	
一般貸倒引当金繰入額(△)	△155	△510	354	△464	
業務純益	14,794	12,621	2,172	16,299	
臨時損益	2,893	818	2,075	799	
株式関係損益	3,491	921	2,570	1,318	
不良債権処理費用(△)	2,451	1,490	961	2,719	
償却債権取立益	990	287	702	721	
その他臨時損益	863	1,099	△236	1,479	
<b>経常利益</b>	<b>17,686</b>	<b>13,439</b>	<b>4,246</b>	<b>20,800</b>	<b>17,097</b>
特別損益	0	△16	16	△18	
税引前四半期(当期)純利益	17,686	13,423	4,262	17,078	
法人税、住民税及び事業税(△)	4,490	2,846	1,643	3,840	
法人税等調整額(△)	600	516	83	469	
法人税等合計(△)	5,090	3,363	1,726	4,309	
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>12,595</b>	<b>10,060</b>	<b>2,535</b>	<b>14,400</b>	<b>12,769</b>
(参考)与信関係費用(△)	1,305	692	613	1,533	

(注) 1 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2 コア業務純益=実質業務純益(業務粗利益-経費)-債券関係損益

3 与信関係費用(△)=一般貸倒引当金繰入額(△)+不良債権処理費用(△)-償却債権取立益

4 2026年3月期通期予想につきましては、2025年11月7日公表の数値から変更はありません。

## &lt;連結&gt;

(単位：百万円)

	2026年3月期 第3四半期 累計期間 (A)	2025年3月期 第3四半期 累計期間 (B)	比較 (A-B)
連結粗利益	43,131	39,086	4,044
資金利益	38,175	33,949	4,226
役務取引等利益	8,743	8,643	99
その他業務利益	△3,786	△3,506	△280
営業経費 (△)	28,386	26,665	1,721
株式関係損益	3,491	921	2,570
与信関係費用 (△)	1,188	513	675
その他	1,242	1,154	88
経常利益	18,290	13,984	4,306
特別損益	0	△16	16
税金等調整前四半期純利益	18,291	13,968	4,322
法人税等合計 (△)	5,484	3,768	1,715
四半期純利益	12,806	10,199	2,607
非支配株主に帰属する四半期純利益 (△)	2	5	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,804	10,193	2,611

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) +  
(その他業務収益 - その他業務費用)

## (2) 金融再生法開示債権の状況 … (単体・連結)

## &lt;単体&gt;

金融再生法開示債権は、2025年9月末比75億88百万円増加し、678億23百万円となりました。  
不良債権比率につきましては、2025年9月末比0.17%上昇し1.59%となりました。

(単位：百万円)

	2025年 12月末	2025年 9月末比	2024年 12月末比	2025年	2024年
				9月末	12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,783	346	△1,844	9,437	11,628
危険債権	29,047	△65	△2,419	29,113	31,466
要管理債権	28,992	7,308	5,959	21,684	23,033
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	28,992	7,308	5,959	21,684	23,033
小計 (不良債権) ①	67,823	7,588	1,695	60,234	66,128
正常債権	4,195,470	31,749	151,134	4,163,720	4,044,335
合計 (総与信) ②	4,263,294	39,338	152,829	4,223,955	4,110,464

(単位：%)

不良債権比率 ①／②	1.59	0.17	△0.01	1.42	1.60
------------	------	------	-------	------	------

## &lt;連結&gt;

(単位：百万円)

	2025年 12月末	2025年 9月末比	2024年 12月末比	2025年	2024年
				9月末	12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,097	320	△1,851	9,776	11,949
危険債権	29,114	△39	△2,405	29,153	31,520
要管理債権	29,909	7,782	6,396	22,126	23,513
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	29,909	7,782	6,396	22,126	23,513
小計 (不良債権) ①	69,121	8,064	2,138	61,057	66,982
正常債権	4,220,351	32,208	151,451	4,188,142	4,068,899
合計 (総与信) ②	4,289,472	40,272	153,590	4,249,200	4,135,882

(単位：%)

不良債権比率 ①／②	1.61	0.18	0.00	1.43	1.61
------------	------	------	------	------	------

## (3) 自己資本比率 (国内基準) … (単体・連結)

2025年12月末の自己資本比率につきましては、算出次第公表いたします。

## (4) 預金等・預り資産及び貸出金の残高 … (単体)

## ① 預金等及び預り資産

譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同月末比944億円（年率1.8%）増加し、5兆1,479億円となりました。  
預り資産残高は、合計で前年同月末比881億円（年率12.0%）増加し、8,217億円となりました。

(単位：億円、%)

	2025年 12月末	2024年 12月末比	年間増加率	2024年 12月末	2025年 9月末
預金等残高	51,479	944	1.8	50,534	51,296
預金	51,195	908	1.8	50,287	51,015
うち個人預金	37,249	200	0.5	37,049	36,743
譲渡性預金	283	35	14.4	247	281
預り資産残高	8,217	881	12.0	7,335	7,828
投資信託	2,779	456	19.6	2,322	2,589
生命保険	4,798	281	6.2	4,517	4,636
国債等	639	143	28.9	496	601
預金等・預り資産 合計	59,696	1,825	3.1	57,870	59,124

(注) 生命保険は有効契約残高を記載しております。

(単位：億円、%)

預金等残高（平残）	50,723	640	1.2	50,082	50,538
-----------	--------	-----	-----	--------	--------

## ② 貸出金

貸出金残高は、前年同月末比1,539億円（年率3.7%）増加し、4兆2,269億円となりました。

(単位：億円、%)

	2025年 12月末	2024年 12月末比	年間増加率	2024年 12月末	2025年 9月末
貸出金残高	42,269	1,539	3.7	40,730	41,880
うち中小企業等貸出金残高	33,676	920	2.8	32,756	33,412
うち住宅ローン残高	10,027	244	2.5	9,783	9,948
中小企業等貸出金比率	79.67	△0.75	—	80.42	79.78

(単位：億円、%)

貸出金残高（平残）	41,322	1,360	3.4	39,961	41,053
-----------	--------	-------	-----	--------	--------

## (5) 有価証券の評価損益 … (単体・連結)

## &lt;単体&gt;

その他有価証券の評価損益は167億98百万円のマイナス、うち、株式の評価損益は496億円のプラス、債券の評価損益は607億55百万円のマイナスとなりました。

(単位：百万円)

	2025年12月末			2025年9月末		
	評価損益			評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	△311	0	311	△169	7	176
その他有価証券	△16,798	54,579	71,378	△4,354	53,579	57,933
株式	49,600	49,663	62	49,599	49,641	42
債券	△60,755	6	60,762	△48,476	29	48,505
その他	△5,643	4,909	10,553	△5,477	3,908	9,386
合計	△17,110	54,579	71,689	△4,523	53,587	58,110

(注) 「評価損益」は、満期保有目的については四半期貸借対照表（中間貸借対照表）計上額（償却原価法適用後）と時価との差額を、その他有価証券については四半期貸借対照表（中間貸借対照表）計上額（時価）と取得原価との差額を計上しております。

なお、時価変動リスクを低減する目的で行う金利スワップによる繰延ヘッジの評価損益は19,608百万円のプラスとなっております。

## &lt;連結&gt;

(単位：百万円)

	2025年12月期			2025年9月期		
	評価損益			評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	△607	0	607	△423	7	431
その他有価証券	△14,390	56,987	71,378	△2,128	55,805	57,933
株式	52,009	52,071	62	51,824	51,867	42
債券	△60,755	6	60,762	△48,476	29	48,505
その他	△5,643	4,909	10,553	△5,477	3,908	9,386
合計	△14,998	56,988	71,986	△2,552	55,812	58,365

(注) 「評価損益」は、満期保有目的については四半期連結貸借対照表（中間連結貸借対照表）計上額（償却原価法適用後）と時価との差額を、その他有価証券については四半期連結貸借対照表（中間連結貸借対照表）計上額（時価）と取得原価との差額を計上しております。

なお、時価変動リスクを低減する目的で行う金利スワップによる繰延ヘッジの評価損益は19,608百万円のプラスとなっております。

## (6) デリバティブ取引 … (連結)

## ① 金利関連取引

区分	種類	2025年12月末			2025年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物	—	—	—	—	—	—
	金利オプション	—	—	—	—	—	—
店頭	金利スワップ	78,961	478	478	79,830	490	490
	合計	—	478	478	—	490	490

(注) ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

## ② 通貨関連取引

区分	種類	2025年12月末			2025年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—
店頭	通貨スワップ	62,113	△1,017	△1,017	71,898	△667	△667
	為替予約	3,284	3	3	3,377	10	10
	合計	—	△1,014	△1,014	—	△656	△656

(注) ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引、(4) 債券関連取引、(5) 商品関連取引及び(6) クレジット・デリバティブ取引について該当事項はありません。

以上